

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和4年2月14日

事業所名:ふたばアシスト

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2 職員の配置数は適切であるか	○				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		躓きやすすり足などの見られる利用者に関しては段差等の注意と歩行の訓練を行い防止に努めている。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				送迎時に保護者の意見を確認行っている。新型コロナウイルス感染が落ち着き次第、面談を行っていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				HPの更新に関しては、行事などに応じて更新し、保護者に活動風景など情報提供していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			毎年他県より外部施設者を招き、研修と評価及び連絡会を実施しているが、今年は感染症拡大防止のため自粛している	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新型コロナなど感染症のため、外部研修は自粛している。職員内での研修を継続し、支援の質を向上できるよう努力している	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			独自のアセスメントツールに合わせ来年よりWISC-IV等を使用しアセスメントを実施(外部心理士依頼)	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週や天気に合わせて活動する内容を毎週のケース会議で確認している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個人の目標を日々設定し、活動に落とし込んでいる	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼、支援後の反省意を行い、支援前に内容を確認している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			上記の通り、反省を行っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議の参加要請は少ないが相談支援事業所とのやり取りは児童発達支援管理責任者が全面的に行っている	利用の際に、体調が悪くなされた際には、ご家族に連絡し適切な対応を行なっている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校側から月報などを送付して頂いており、各行事などにも参観させて頂いている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケア(与薬等)が必要な場合はお薬手帳などお薬指示書を頂けるように保護者へ促している	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報提供書の要請とすこやかファイルの活用を行っている	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		ふれあい館でのスポーツ大会などに参加し、大人や子どもと関わる機会を設けている	外出しての活動が可能になり次第、提携の放デイやスポーツ大会の参加を取り入れ、施設外の他者との交流を図っていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			年に3回の面談期間を1週間設けて実施している。	新型コロナウイルスの感染拡大防止につき、場合によっては書面や電話での面談を受け付け、対応している。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		専門職の確保が難しい為、看護、介護、理学療法、保育の各専門員が出来る限りの相談支援を行っている。	定期的に個別面談を行っている。希望がある際には随時、面談を実施しており、今後も継続していく。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門外(心理的、医療的)な相談については適切な相談が出来ていない。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		家族参加での年末行事を行っている。父母会については、ご家族の負担等も考慮し個別相談を実施。事業所側の伝達とご家族との連絡相談の場を設けている。今後、父母会等の設立要望を多数のご家族から承れば検討する。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			当日もしくは翌日までには対応、対策を挙げ保護者へ連絡対応をする様に努力している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○			職員には入社時及び半年に1回定期的に全体研修を行い、周知徹底を行っている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○				

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員には入社時及び毎月、全体会議を行い、周知徹底を行っている。保護者周知に関して、各マニュアルをホームペー	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			計画的な避難訓練等を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員には入社時及び半年に1回定期的に全体研修を行い、周知徹底を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を必要とする利用者がいない状況である。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			フェイスシートにて確認している。現在は、食物アレルギーのある利用者がいない状況である。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)